

第二岩崎地区広域漁場整備事業効果調査

(要 約)

高橋 宏和*

目 的

第2岩崎地区広域漁場内の着底基質（円形セピア）に生育するホンダワラ類等水産生物の生育状況及びホンダワラ類等海藻へのハタハタ産卵状況を調査する。

材料と方法

1. ホンダワラの生育状況調査－Ⅰ

平成23年6月に第2岩崎地区広域漁場とその周辺及び天然礁に8調査地点を設定し、各調査地点に生息する海藻の被度、底生動物の枠取り、魚介類の目視調査を行った。

2. ホンダワラの生育状況調査－Ⅱ

平成23年9月に第2岩崎地区広域漁場とその周辺及び天然礁に8調査地点を設定し、各調査地点に生息する海藻の被度、底生動物の枠取り、魚介類の目視調査を行った。

3. ハタハタの産卵状況調査

平成24年2月に第2岩崎地区広域漁場とその周辺及び天然礁に8調査地点を設定し、海藻の被度、底生動物の枠取り、魚介類の目視調査を行うとともに、ホンダワラ類に付着するハタハタ卵塊について調査した。

結果と考察

1. ホンダワラの生育状況調査－Ⅰ

調査範囲内で確認された海藻は、緑藻1種（アナアオサ）、褐藻12種（エゾヤハズ、ハバモドキ、ケウルシグサ、ワカメ、ツルアラメ、スギモク、ジョロモク、フシスジモク、ミヤベモク、ヤツマタク、マメタワラ、ヨレモク）、紅藻12種（有節石灰藻、無節石灰藻、マクサ、ツノマタ、フダラク、キョウノヒモ、カバノリ、フシツナギ、フジマツモ、モロイトグサ、イソムラサキ、アマモ）の計25種であった。

2. ホンダワラの生育状況調査－Ⅱ

調査範囲内で確認された海藻は、緑藻1種（アナアオサ）、褐藻12種（エゾヤハズ、ハバモドキ、ケウルシグサ、ワカメ、ツルアラメ、スギモク、ジョロモク、フシスジモク、ミヤベモク、ヤツマタク、マメタワラ、ヨレモク）、紅藻12種（有節石灰藻、無節石灰藻、マクサ、ツノマタ、フダラク、キョウノヒモ、カバノリ、フシツナギ、フジマツモ、モロイトグサ、イソムラサキ、アマモ）の計25種であった。

3. ハタハタの産卵状況調査

ホンダワラ類の種別、個体別にハタハタ卵塊の付着状況について確認したところ、天然礁においてホンダワラ類5種（ヨレモク、マメタワラ、フシスジモク、ジョロモク、ヤツマタモク）への産卵が確認された。

* 青森県農林水産部水産局水産振興課

発表誌：平成23年度第2岩崎地区広域漁場整備事業効果調査業務委託報告書 青森県産業技術センター水産総合研究所，平成24年3月。